

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	雲仙わさび特産化推進会
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	7人(うち、女性の人数: 5人) (令和4年4月時点)

1 事業実施方針

長崎県の雲仙市には現在活動している女性農業者は多くはない。雲仙わさび特産化推進会(以下、本会という)の会員の知人女性30名程度を調査したところ、農業を避けている理由の一番の原因は力仕事が多いことが上げられ、次に汚れ仕事の多さが上げられた。

わさびは、水温管理や水質管理が重要となり、力が必要となる仕事がないため、女性に適した農業といえる。このことから、本事業を活用して、「農業=力仕事」という概念を払拭し、女性農業者(特に新規就農者)が気軽に農業を始められる環境を構築する。

しかし、本会には収穫や出荷中に女性がゆっくり休憩できるスペースがない。また、女性同士のコミュニケーションができる場もないため、女性専用の休憩施設を用意する必要がある。

本会では、わさびを作るだけでなく、比較的女性が得意とする SNS を活用したマーケティングにも力を入れることで、女性が楽しみながらやりがいをもって活躍できる地域にすることを目標とする。

本事業の実施によって雲仙市を10年後に、女性農業者比率を10年前と同水準の51%に戻すことを目標とし、特産わさびを使った6次産業化を行っている先進的な小規模農家の集まりがある場所としたいと考える。

雲仙市役所にわさびを特産品として認めてもらうためのアプローチを行う。特産品として認めてもらうことで、本会の島原半島エリアへの認知度向上が見込め、女性が新規で就農するきっかけとなることを期待できる。

また、雲仙市の農林水産部にも本会の事業をアプローチし、就農支援サイトに掲載を求める。

長崎県内では、農業就業人口は全体で10年前が4万人、昨年度が3万人だが、30歳未満男性農業者については全体の16%となっており、10年前の26%から下がっている。そして、若い男性の農業者ほど減少している。

しかし、これも女性の働きやすい環境を整えることで将来的に男性若手農業者と配偶者を増やす

取り組みにつながると考えている。

また、女性農業者は現在農業就業人口の約 47%を占めているが 10 年前が 51%であったため、農業が魅力ある働きやすい環境となるような取組みが望まれており、本事業を行うことで再度女性農業者に光をあてて男性も女性も働きやすい環境を作り、活性化をしていきたいと考えている。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

■事業実施体制

事業責任者：本会 会長

経理責任者：本会 副会長

女性農業者：5名

女性農業者が各自 SNS を通して、本会の労働環境や販売先等を発信することで、新規で女性が就農できるよう活動していく。

事業責任者（本会 会長）は、本会女性農業者が働きやすい環境を提供するため、休憩スペースの設置と改修を行う。また、改修を行う際は、女性農業者の意見を積極的に取り入れていく。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の (1) の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者（女性 1 名以上を含む）の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(今後の取り組み) 1) 新規就農希望者の体験受け入れ 農業未経験の女性をメインに新規就農につながる動きを行う。例えば、充実した休憩施設で雑談を交えながら作業ができる環境をアピールすることなど。	女性 8 名 (目標)	
2) SNS を通して女性農業者の活動状況を発信 上記と同様に、充実した休憩施設で雑談を交えながら作業ができる環境があることについて SNS を通してアピールする。 「農業＝力仕事」という概念を払拭することで、女性農業者（特に新規就農者）が気軽に農業を始められるきっかけを用意する。	隔週 SNS 発信 (目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(今後の取り組み) 1) 定例会の開催 女性が働きやすい環境が整っているか、全国の女性農業者の SNS 等で知りえた情報を交換する。	年間 4 回程度 (目標)	
2) パッケージ開発会議 わさびという商品の性質上、女性にはあまり興味関心を持たれる機会がすくないため、写真映えするような可愛らしいデザインのパッケージを熟考する。	毎月 1 回程度 (目標)	
3) お茶会の開催 わさびを使ったお茶会を定期的を開催する。女性農業者同士の友好関係を深めることで絆ができ、農業への定着につながる。	毎月 1 回程度 (目標)	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(今後の取り組み) 1) 女性視点を生かした商品パッケージ開発 例えば、わさびの料理方法をパッケージに記載することで主婦層への訴求につなげる等	事業終了翌年度を目標に デザイン	
2) 販路開拓のためふるさと納税への参加 女性が主体的に活躍している風景をわさびの商品ページに掲載する。	事業終了翌年度を目標に 雲仙市役所へ登録申請	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
	<p>■女性専用休憩室の設置</p> <p>休憩室として利用できるプレハブ小屋を設置し、女性農業者の意見を取り入れながら改装工事を行う。</p> <p>対象女性農業者：2022年4月末時点で5名</p> <p>■設置の理由</p> <p>本会には収穫や出荷中に女性がゆっくり休憩できるスペースがない。また、女性同士のコミュニケーションができる場もないため、女性専用の休憩施設を用意する必要がある。</p> <p>充実した休憩スペースにより、女性農業者が楽しく和気あいあいとした雰囲気を作っておくことで、本会への入会するメンタル面のハードルが下がることが期待できる。</p> <p>■環境整備利用者 所属農園</p> <p>本会 会長</p>	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	
②	
③	

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	
②	
③	

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	
②	
③	

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①				
①				
②				
③				

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	8 人
（新規確保女性農業者の内訳）	
自営農業就業者	人、雇用就農者
	人、アルバイト・ボランティア等
	8 人

（注） 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間 30 日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。